

六夕 日刊 磐城時報

編輯 磐城郡平町小川北 印刷 磐城郡平町小川北
 印刷所 磐城印刷所 印刷部 磐城印刷所
 印刷所 磐城印刷所 印刷部 磐城印刷所
 印刷所 磐城印刷所 印刷部 磐城印刷所

今日日中は 合併交渉纏らん

来る十日頃正式交渉

平町平銀行と常磐銀行との合併春二月十三日を以て執行されるに就て平銀行重役高岡唯一郎氏等平町の名望家諸橋久太郎氏外二名は五日水戸常磐銀行本店を擁立せんとする演進り派そのに出張合併に對する平銀行側の他縣下各地を通じて戦雲漸く濃豫定比率並に意見を提示する處厚なるものあらんとしつゝあるであつた、これに依つて常磐銀行が、平町ではその筋の通達に基側では本明日中に重役會を開き去月中旬から町内における多額納税者の調査をなし四日左記の

通り縣に報告した。而して右は縣下各町村申達による納税額の順位により決定發表される事になつてゐる。

- 納税額 氏名
- 一、六六七 諸橋久太郎
 - 二、八八二 山崎與三郎
 - 三、四七〇 百澤易興
 - 一、八四四 吉田由三郎
 - 一、一八六 丸山慶治
 - 一、〇九八 中野勇吉
 - 一、〇七四 江口忠一
 - 八九〇 堀江正直
 - 八三四 酒井秀次郎
 - 八三一 諸橋國松

成績が非常に悪い 平の國税納入

去月中は屢報の如く營業収益税に就き義務者、町役場とも會てより多少低下しても甚だしい屈資本利子税、地租、雑地租等各なき寛大な取扱ひをなし各納税の厚みのあるのでない限りこの際國税の納税に相當し而も國税と者の便宜を圖つたが遂に四百八併すべきであるとの云ふにあるらしては年中を通じて最も納税の額十三圓五錢この人員三十七人は曲折があつても七八分通り合併管内各町村役場においては過般入するに至らず茲に滞納者の取の可能性があるものと見られるが、來平銀行の臨時休業に伴ふ徵收投をなすべく余儀なき結果に陥合併に對して常磐銀行が如何なる上の支障を願慮しその間遺漏なり從來收入歩合九、九七或は八の條件と比率を持ち出すか、期を期すべく細心の注意を拂つて下る事がなかつた平町國税徵依つて平銀の開業の遅延或いはた勿來、湯本、四倉等の各町に作るに至つた。

平町の 多額議員資格者

本縣多額議員吉野周太郎氏の失格に伴ふ互選議員の補缺は來一方ならず納入打ち切の時期等硬塞に弱り切つてゐるが、苦し

石城郡に 同族會社激增

磐城銀行の休業に次いで四倉銀の二分の一以上を占めてゐるだ行の支拂猶豫、平銀行の休業と

い中産階級の商店や工業者は債務の督促に堪へかねて支拂猶豫を求め若しくは脱税の手段として合名、合資の同族會社を設立するもの激增し殊に本年に入つてからその傾向著しく平稅務署管内には現在百六十の同族會社設立されてゐるがその内百二十位は同族會社で占めてをり稅務當局も激增に驚いてゐる。

第三區校長會

石城郡第三區小學校長協議會は來月十五日午前十時から第一校に於て教育事業に關し協議會を開

坊主の基本金費消 壇家と大立廻り

石城郡磐崎村字岩ヶ岡岩並忠三學校において優良納稅組合の表

邸(七七)は二日惠比壽講の晩禮形式を擧げたが同部平稅務署長會合飲酒し些細のことから同寺住職土屋修善と口論の末大立廻

を演じ岩並は土屋住職のため散々毆打されたので同住職を相手取り告訴するといきまいてゐるが原因は住職の寺の基本金六

百余圓を總代に相談せず亂費したといふことからのぞ亂費の事件は過般來物議を醸してゐたものがある。

奉安庫に御紋章 崎村尋常高等小學校では今回御

大典記念に建設した御眞影奉安庫前扉に菊御紋章描出方榮田校

納稅組合表彰 赤井村では五日午後一時から同村小

原因損害取調中である。

昨夕 神谷の火事

五日午後六時頃神谷村大字瀬戸農園井嘉八方物置から火災し

平局の年賀郵便 来る二十日から取扱ひ 臨時に局員を増す

平郵便局の年賀郵便特別取扱ひ如く郵便貯金は十月中に比し受は毎年十二月十五日から開始し入に於いて八百九圓四十錢増加

取扱ひを開始することになつた十五錢減少してゐる状態で貯金

局十一月中の業務成績は左記の

貯金受八百五十口一萬七千七百九十九圓八十六錢、拂三百四十一萬一千七百七十五圓四十錢

振替受二百三十四口四千四百九十七圓八錢、拂六十五口一

萬三千五百五十五圓三十六錢、爲替受三百五十五口一萬二千七百

十一口一萬六千九百九十七圓九十三錢、書留郵便受七百一十

配達六百五十三通、普通郵便受三千三百九十五通、配達三萬

連續して食逃げ 村大字瀬戸附近で数日前から連

續して無錢飲食を働いた原籍兵

年の瀬を前に 飢に逼る人々

植田町共済委員長瀬戸次氏は豫架橋する事となり内六割の縣補

費一萬八百六十一圓を以て新に於て過般村會の決議により工

見す不便からざる爲め村當局

かへ、加へて家族幼弱にて悲慘なる貧困者等その日の糊口に事

共ト存共
 融金ノ易
 儲蓄ノ味趣
 富貯ノ味趣
 儲蓄ノ味趣

四時川の 吊橋工事

石城郡川部村大字小川北の内及及び大字沼部字鹿野間に通する

毎月一回 級長會議

平第一小學校では全生徒中より選抜しての組長、級長會議を四日午後二時より同校講堂に會我校長以下各訓導列席の上開催悪風の矯正思想の善導等大袈裟な協議をなしたが組長、級長は何れも九歳以上十三歳以下の少年であるが議案を説明するその態度並に論旨は全く洗練されてゐるので居並ぶ訓導連も舌を巻いて感心してゐた。なほ同校では今後毎月一回宛會合してこの種の協議會を催すこととなつたが一般少年の惡風矯正は家庭及び學校よりも模範少年の指導によるのが好成績を収めるのと同校ではこの方面に全力をそそぐ。

西洋料理の拵方

イワキ食堂主 森川泰一郎 (五)

(ホ) スチウド・ケチール 材料十人前に付

玉葱	二百	斤
食パン	二	斤
鶏卵	二	斤
塩胡椒	二	斤
メリケン粉	二十	斤
ラード	二十	斤
ドビイグラス	三	斤
糸切キャベジ	百	斤
パセリ	一	把

(ハ) マンチカツレットの拵方の時に詳しく説明いたしました様に、引肉、食パン、玉葱、鶏卵は黄身共に混ぜ合せ、手の平にて大豆大位の大きさにメリケン粉を付けつゝ丸め、

再度メリケン粉にころがし、ラード二十斤を煮溶かしたフライパンに入れて、よく攪拌しつゝ狐色にいたため、ラードを搾り取り、三合程のドビイグラスソースを入れ、二三分間煮込み、一人當り七ッ位宛食皿の中央に盛り糸切キャベジを鳥の巢の如く巻き付け三ヶ所程パセリを付けて供します。

附記) ドビイグラスソースは (ニ) スチウドボウクスの拵方の時に申し上げましたドビイグラスを裏漉して、塩、胡椒にて味付けしたものです。

吉例年末謝恩第二回興行

當る六日より上映

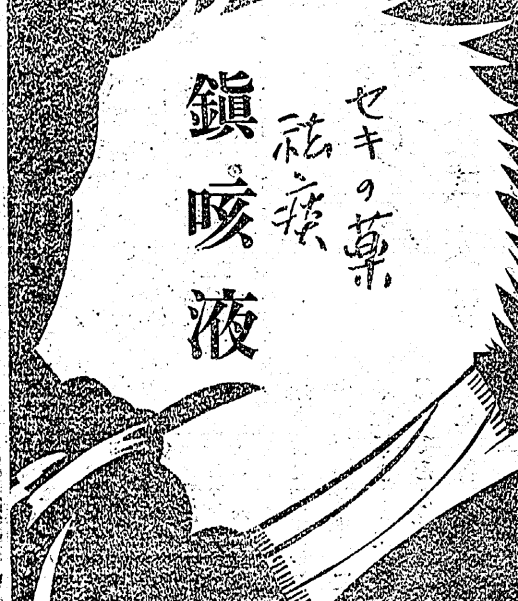
主演 河部五郎、新妻四郎、酒井米子、浦邊条子、大河内傳次郎、高木香、外木トリス、タカシタ、藤田進

第一 尊王の巻 全十巻
時世... 尊王の叫びがあつた。次喜多は尊王の叫びがあつた。

第二 草駄天の巻 全十巻
勸王士は新撰組と争つた。次喜多は草駄天の如く。

第三 伏見鳥羽の巻 全十巻
戦争... 血煙惨状... 潮次喜多は逆上して錦旗をひるがへした。

普通 金十銭 平 館



セキリ草 祛痰 鎮咳液

特約店 關内藥局

番〇四話電 目丁四町平

陽明 専門 内科

婦人病 淋病 梅毒 皮膚病

院病村松

電話 七〇一

平町田町 (電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久 忠
新瀨醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

内科 小兒科 外科 花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

預金の賣買を致します

賣買の手續は無料で致します

平町 仲田町

駒場株式会社

電話四六五番

内臓外科 骨關節外科 整形外科 産婦人科 婦人科 外科 産婦人科

藤本 順 木村寅次郎

木村醫院

平町新川町 (電話一六四)

滋養、強壯劑として愈々好評 偉大なる藥酒 粟守酒

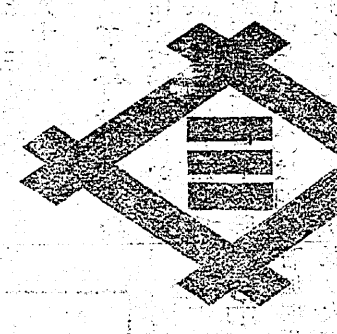
朝の一杯は精力の根柢、晩の一杯は睡眠の助力

栗守酒特約店 大平屋藥店

代價八日壹圓九十錢 平町一丁目一電六四三二

弊店は常に良品本庄東都今冬の流行品を豊富に取り揃へてあります、別して御婚禮支度には特に力を入れました、是非御用命下さい。

御婚禮支度は三井



三井物産株式会社

江戶樓 丸帶 錦紗小紋
秩父夜具 銘羽 仙各 種

平町 三井吳服店

父乙三郎儀 病氣の處療養 不相叶本月四日午後一時死去 致候間此段御通知申上候也

追而葬儀は來る九日午後一時自宅出棺性 源寺に於て佛式に依り相營み申し候

十二月七日

福島縣平町振地小路

男 阿部政右衛門